

2012年2月21日
東日本旅客鉄道株式会社

グラントウキョウノースタワーをはじめとする3つのビルの 「優良特定地球温暖化対策事業所」認定について

このたび、当社が事業主であるグラントウキョウノースタワー、グラントウキョウサウスタワー、JR品川イーストビルの3つのビルが東京都環境確保条例の「優良特定地球温暖化対策事業所」として、東京都から2012年2月17日に認定を受けました。

これはCO2などの温室効果ガスの排出削減に優れたビルとして、エネルギー効率の高い設備の導入や、運営管理面での積極的な取り組みが評価されたものです。

今回の認定により、当社における「優良特定地球温暖化対策事業所」は、サピアタワーなど昨年度に認定を受けたものとあわせて6事業所になります。

JR東日本グループでは、今後も環境や省エネルギーに配慮した建物の開発・運営管理を進めてまいります。

1. 認定された「優良特定地球温暖化対策事業所」

トップレベル事業所

- ・ グラントウキョウノースタワー(新規認定)
- ・ JR品川イーストビル(2010年度準トップからレベルアップ)

準トップレベル事業所

- ・ グラントウキョウサウスタワー(新規認定)

2. 各ビルの特徴

(1) グラントウキョウノースタワー

- ・ オフィス部分では、東西南面の外壁にエアフローウィンドウを採用し空調負荷を低減するとともに、照明の積極的な制御など効率的な運用に努めています。
- ・ 百貨店部分(地下1階から13階で百貨店「大丸」が営業中)では、冷房排熱の回収や氷蓄熱システムの導入などエネルギー利用の効率化を行なっています。

(2) JR品川イーストビル

- ・ 昨年度は準トップレベルの認定を受けましたが、その後、空調機の最適起動制御の導入や熱交換機の定期清掃の実施などの運用改善、設備投資を継続的に行った結果、トップレベル事業所へのレベルアップが認められました。

(3) グラントウキョウサウスタワー

- ・ BEMS(ビルディング アンド エナジー マネジメント システム)によるエネルギー使用の詳細な計測、分析を行うとともに、ブラインドを活用した日射制御など環境負荷の低減及び効率的な運用に努めています。

3. 「優良特定地球温暖化対策事業所」について

(1) 認定基準

「設備及び建物性能」や「事業所の運用」等の省エネルギーに寄与する評価項目(228項目)において下記の得点を取得し、トップレベル/準トップレベルの認定基準に適合すること

- ・ 得点80点以上 トップレベル事業所
- ・ 得点70点以上 準トップレベル事業所

(2) 認定の効果

対象事業所の地球温暖化効果ガス削減義務率が軽減されます。

- ・ トップレベル事業所 削減義務率を1/2に軽減
- ・ 準トップレベル事業所 削減義務率を3/4に軽減

4・各ビルの概要

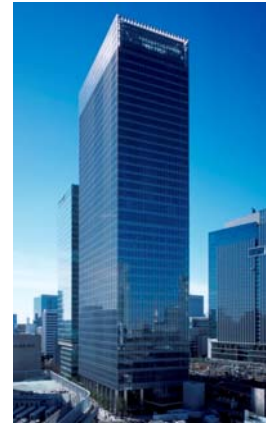
物件	グラントウキョウノースタワー	JR品川イーストビル	グラントウキョウサウスタワー
竣工年月	2007年10月	2004年2月	2007年10月
所在地	千代田区丸の内	港区港南	千代田区丸の内
階数	地下4階～地上43階	地下3階～地上20階	地下4階～地上42階
延床面積	約172,000m ²	約62,000m ²	約139,800m ²
主用途	オフィス、百貨店	オフィス、店舗	オフィス、店舗
事業主	・東日本旅客鉄道(株) ・三井不動産(株)	・東日本旅客鉄道(株)	・東日本旅客鉄道(株) ・鹿島八重洲開発(株) ほか
運営管理会社	・三井不動産ビルマネジメント(株)	・(株)ジェアール東日本ビルディング ・(株)アトレ	・(株)ジェアール東日本ビルディング



グラントウキョウノースタワー



JR品川イーストビル



グラントウキョウサウスタワー

5. 今後の予定

2012年度は、下記のビルで「優良特定地球温暖化対策事業所」の申請を検討しております。

- ・ グラントウキョウサウスタワー (準トップレベル トップレベルへのレベルアップ申請)

(参考)

・ 今回の認定により、当社における「優良特定地球温暖化対策事業所」は、以下の6箇所となりました。

トップレベル事業所

サピアタワー、グラントウキョウノースタワー(新規)、JR品川イーストビル(昨年度は準トップ)

準トップレベル事業所

JR東急目黒ビル、東京ビル、グラントウキョウサウスタワー(新規)